

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2371001500		
法人名	(有)ネクストサプライ		
事業所名	グループホーム名古屋中川の家 1号館		
所在地	愛知県名古屋市中川区吉津4丁目1303		
自己評価作成日	平成25年3月10日	評価結果市町村受理日	平成 25 年 6 月 13 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	福祉総合研究所株式会社		
所在地	名古屋市東区百人町26 スクエア百人町1F		
訪問調査日	平成25年3月30日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>利用者様一人ひとりの状況に応じた介護を職員・家族で話し合い実行するようにしている。毎月行う行事には、家族にもお知らせをし参加して頂き、一緒に楽しんで頂いている。</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所前には広い公園があり、静かでのんびりと散歩を楽しむ事も出来る環境である。グループホーム理念である、明るく家庭的な雰囲気や心がけ日常生活の関わりの中で一人ひとりを大切に、利用者、家族との会話からコミュニケーションを深め常に提案、工夫を行っている。利用者、家族から「このグループホームで良かった」と思ってもらえるように目標をもって取り組む等、意欲的であった。ケアプランには利用者の意向に沿える様に他職種の人に来てもらい、意見をもらうなどの取り組みを実施していた。また、地域交流の場を増やすため、自治会に参加する事や市町村との連絡を密に取り、定期的に市町村職員と利用者が直接話をする機会を作って、安心して頂くように取り組んでいる。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員会議において、グループ理念を唱和し、確認して実践につなげている。	法人の理念とグループホーム独自の理念があり、職員会議時に唱和している。掲げている理念は日常生活の中でも常に話し合う機会や実践について確認しており、意識づけされている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎年、元旦の初詣に町内の神社を参詣し、近所にお住まいの方々とお神酒を飲みながら交流を図っている。 近所の喫茶店に出掛けたり、地域の高齢者の方々と一緒に食事をする“つくしの会”の給食サービスに参加している。	自治会に参加し、毎年初詣に近所の神社へ参拝したり、近所の喫茶店へ行くなど地域との関わりを大切にしている。また、2ヶ月に1度地域のコミュニティーセンターへ利用者と一緒に出かけ、地域の人達との交流を図っている。中学校の体験学習の受け入れもやっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の中学生の体験学習を受け入れている。 運営推進会議や行事への参加を地域に呼びかけている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議において頂いた意見や希望については、職員会議、カンファレンスにて話し合い、サービスの向上につなげて、次の会議で報告するように心がけている。	意見やアドバイスはカンファレンスや会議で話し合い、具体的に活用できる様に取り組んでいる。推進会議に参加できない家族からの意見は、面会時に聞き取るようにして、次の運営推進会議の議題へ繋げている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協働関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に地域包括支援センターの職員に出席してもらっている。 利用者の状況に応じ、市職員から利用者へ直接、話をしてもらっている。	市町村担当者へは、事業所の実情などについて、相談している。また、定期的に生活保護担当者が来て利用者へ直接話をする機会を設けている。市町村との協働関係が築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事務室に「身体拘束ゼロへの手引き」を置き、職員への啓発を行い、玄関、居室等の施錠をしないケアに取り組んでいる。	職員が手薄になる時などは、家族からの要望があり、施錠している。身体拘束については、月に1度勉強会を行い、伝達講習を実施し職員の意識向上に繋げている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の指導は徹底されており、本部よりの研修指導が定期的に行われ、カンファレンス等においても話し合っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度利用者の後見人との交流を持っている 講演会やセミナー等に職員が行ける環境にあり、セミナー等に参加している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時に利用者、家族等に契約内容の説明を行い、ご理解の上、契約書を取り交わしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設に対する苦情や要望の窓口は、施設だけでなく、本部にも設けられており、ご家族よりの意見、要望を聞き、運営に反映させている。	ホーム便り「中川の家だより」を年2回発行、家族への状況報告やお知らせ案内を毎月郵送している。家族からの要望や意見は、管理者が直接顔を合わせて話をするようにしている。出された意見は本部とも話し合い、その後必ず家族へ伝えている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議を毎月行い、職員が意見を述べる機会を設けている。 議事録は回覧し、全職員へ周知を図っている。	管理者は職員の意見に耳を傾ける事や、職員の働く意欲向上となる様取り組んでいる。 職員からの意見で、利用者を担当制にして、ケアを行なうことにした。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人内における研修を年2回常勤職員を対象に行っている。 外部研修については、回覧にて職員に情報を提供し、希望者には休みを利用し参加できるよう勤務調整を行なっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内における研修を年2回常勤職員を対象に行っている。 外部研修については、回覧にて職員に情報を提供し、希望者には休みを利用し参加できるよう勤務調整を行なっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	講演会、シンポジウム等への参加を通して、同業者との交流を図っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者に対する傾聴に十分留意している。利用者全員に対して、一緒に外出したりする時間を持つように努力している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族等の要望については、可能な限り受け入れるようにしており、利用者の状況についても家族等に報告している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアプラン作成時だけでなく、本人の状況の変化に伴い、担当者会議で話し合い、家族に報告し、プランを変更している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除や食器拭き、洗濯物たみ等、利用者ができることを職員と一緒にしていただいている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホームの行事に利用者とともに参加していただけるように家族の方に案内している。家族の方との外出、外泊を自由にしていただいている。 可能な家族の方には通院に付き添っていただいている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族・知人の来訪や家族との外出の機会を設けている。	家族や知人と外出したり、部屋で楽しい時間を過ごす時もある。年賀状や暑中見舞いを出すなどの支援もしている。利用者の馴染みのある環境を維持できる様に対応している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎月行う行事等に向け、利用者と一緒に考え、準備や作品作りをしている。 天気の良い日は、一緒に話をしながら日光浴や散歩をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所される利用者の受け入れ施設の確保や情報提供を行なっている。 家族の許可を得て、面会を行なっている。 家族から退所者の状況について電話をいただいたりしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者への傾聴を重視するとともに、利用者の行動の変化等を観察し、状況を介護記録に記して、ケアプランに反映させている。	職員は日々の生活の中で利用者の話を聴き、思いや希望の把握に努めている。意思疎通が困難で返事がなくても、声をかけるよう心がけて、表情から汲み取り、本人の視点に立って支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族関係や今までの生活歴、病歴等について入居情報として記録し、ケアプランに反映させている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の日々の出来事や言動等を介護記録に個別に記入し、職員間の情報の共有、ケアプランの見直しに活用している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月の担当者会議にて職員が話し合い、本人の状況について、家族や協力医などの意見交換や指導をいただき、ケアプランを作成している。	介護計画は本人・家族の希望を取り入れ、アセスメント・モニタリング・サービス担当者会議を行ない作成している。毎日、職員は短期目標ができたか評価している。見直しは定期的に行ない、状態に変化があればその都度、必要な関係者で話し合いをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の日々の出来事や言動等を介護記録に個別に記入し、職員間の情報の共有、ケアプランの見直しに活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問リハビリや訪問理美容など、他サービス事業所とも連携し、本人のニーズに合ったサービス提供を行なっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の高齢者の方々と一緒に食事をする“つくしの会”の給食サービスに参加している。 ボランティアが来訪し、利用者のレクリエーションに協力していただいている。 近所の八百屋さんから、野菜の差し入れなどを頂いている。 図書館を利用している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に訪問医、訪問歯科の受診を受けている。	ほとんどの利用者は協力医の訪問診療を月2回受けているが、かかりつけ医を希望する人は家族が対応している。その際状態を記したメモを渡し、結果を聞いている。また、歯科・リハビリの訪問もあり、近所の皮膚科・眼科は職員が付き添い受診している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問医、訪問歯科医から、介護として可能な看護指導を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	訪問医、訪問歯科医をはじめとした医療機関との情報共有を図り、適切なサービス提供を行うように取り組んでいる。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	カンファレンス等において、利用者の状況を協議し、必要に応じて医療機関や特養、老健との連携を図っている。	契約時に医療行為が必要になった場合は、看取りはできないと説明している。重度化や終末期となった時点で、家族・医師・事業所で話し合いを行っている。ホームでは、過去に医療行為を伴わない看取りをした経験があるので、今後は研修や医療体制を整え看取りを行いたいと考えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の対応マニュアルを整備し、職員への周知徹底を図っている。一部の職員ではあるが、救急救命の普通講習・上級講習を定期的を受けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回以上の消防訓練の実施を行い、昼、夜分けての避難訓練をしている。 新しく入った職員には、消火器の使い方、通報装置の使い方の指導をしている。	12月に運営推進会議を兼ね、利用者と一緒に昼間の火災を想定した避難訓練を実施した。その際、いきいき支援センター職員から避難場所までのルート確認のアドバイスがあった。備蓄品は飲料水・梅がゆなどを準備している。	年2回消防署に届けを出し避難訓練をしている。しかし、昨年目標達成計画に掲げた、地域住民の協力を得ての避難訓練は行なわれていない。実現できるよう期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	傾聴、声かけに努め、利用者の生活に配慮するように努めている。	プライバシーの研修を行ない、利用者の誇りを傷つけないように声かけに気をつけている。言葉使いは職員同士で確認し、注意し合っている。居室でパソコン・読書など本人の趣味をすることも人格の尊重と考え、一人の時間を大切にしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	散歩、入浴等をローテーションを組まず、本人の、その日の希望によって自身で決めていただくように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのライフスタイルを大切に、その人らしい暮らしができるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝の身支度、ひげそりなどの声かけ、介助を行い、身だしなみを整え、その人らしいオシャレができるよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	定期的に嗜好調査を行い、利用者の好きなメニューを献立に取り入れている。食器拭きや片づけ等に積極的に参加して頂いている。	献立は利用者の意見を取り入れながら、職員が立てている。ホーム前の公園で手作り弁当持参のお花見、駐車場で焼肉や流しそうめん・手作りおやつ(ホットケーキ・おはぎ)など一緒に作り楽しんでいる。また、個別で外食に出かける人もいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、10時、15時に水分補給を行っている。 毎月の体重測定、定期的な血液検査を行い、医師の指導、指示を受けている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医の定期的な訪問を受け、適切な指導を受け、個々に応じた口腔ケアの実践に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	オムツの使用は最小限にし、利用者の排泄チェック表をもとに排泄パターンの把握に努め、トイレ誘導等を行っている。	排泄チェック表からリズムが分かり、その人に応じた声かけでトイレでの排泄に繋げ、紙パンツから布パンツに変わった利用者がある。また、日中は紙パンツで過ごし、夜間オムツに替えるなど、本人の状態に応じて支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分や食事により、自然な排便ができるように心がけている。 便秘が続くときは、主治医の指示により、便秘薬の服用をしていただいている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	利用者のその日の気分、体調によって、お風呂に入る、入らないを利用者自身に決めて頂いている。入浴が楽しみな方も多く、毎日入られる方も多い。	毎日、午後に入浴できるが、その日の希望を利用者に確認している。広い浴室には暖房がしてあり、仲のよい人との入浴や入浴剤・柚子湯・菖蒲湯など楽しく入浴できるよう支援している。介護度の重い人は職員2～3人で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのその時々の体調に応じ、休息が必要な方には夜間の安眠を妨げない程度に休息していただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各利用者の薬の説明を把握し、薬の変更があった場合は、状態を観察し、担当医への報告を行なっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器拭きやトレイ拭き、洗濯物たたみなど、利用者のIADLに応じて、手伝っていただいている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	基本的に毎日、散歩もしくは日光浴を行っている。 地域の喫茶店にお願いし、車いすでの入店を了解していただいている。	天気が良ければ毎日散歩や日光浴をしている。訪問時玄関先のベンチで楽しくしゃぼん玉をしている姿が覗えた。図書館や喫茶店・買い物などの個別支援を行っている。また、家族と一緒に食事や買い物に出かけたり、自宅に帰る利用者もいる。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々のお金を預かっており、一緒に買い物に出かけ、預かっている財布から自分で支払をして頂くようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族の方等の電話の取り次ぎを職員が行い、本人自身に直接電話で話していただいている。 年賀状等を本人自身に書いていただき、家族の方への送付を職員が行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内は、毎日清掃を行い、常に清潔に努めている。 季節の花や季節感のある掲示物を作成し、掲示している。	居間にはテレビを囲み大きなソファがあり、ゆったりと寛いでおしゃべりやテレビを見ることができる。壁には季節の壁飾りや行事の写真を飾っている。対面キッチンから利用者の様子を見ることができる。毎年玄関軒下に燕が巣作りし、利用者は巣立ちを楽しみにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングでは、本人のADL、他利用者との人間関係を考慮して、席を決めている。 リビングのソファに座り、仲の良い利用者同士が話ができる空間を作っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者一人ひとりの好みを尊重し、居室には馴染みのものや使い慣れた家具等を置いていただき、居心地のよい空間づくりをしている。	居室に洗面台があり利用者は食後歯磨きを行っている。また、クローゼットは開けやすいようカーテンになっている。桐ダンスや机・椅子・仏壇など馴染みの物を置き、自作の作品・人形・カレンダーなどを飾り、その人らしい居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設は、平屋建ての段差がないバリアフリー構造としており、車いす利用者や杖の必要な利用者をはじめ誰もが自由に行動できる空間づくりをしている。		

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371001500
事業所名	グループホーム名古屋中川の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に入り、近所の人との交流を図り催し物に参加をしたり、地域のいきいき支援センターで行われる「ふれあい祭り」の参加や、コミュニティーセンターで開かれる「つくしの会」へ2ヶ月に1度利用者と共に参加している。また、中学校の体験学習の受け入れも行うなど地域の関わりを大切にしている	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 地域包括支援センター職員の参加もあり、年6回運営推進会議を開催している。運営推進会議で出された意見は会議で話し合いを行い、次へ繋がるように取り組んでいる	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市町村の職員や包括支援センターと連携を図っている。生活保護担当者が事業所に来て利用者の相談を直接聞いてもらうなど、事業所、利用者とも関わりを築いている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） ホームたよりを年2回発行している。お知らせは、毎月手紙を郵送するなど、家族への近況報告を行っている。遠方の家族へは手紙や電話をかけ、意見等を聞いている。本部にも相談窓口を設けていて、出された意見は事業所会議で話し合い、改善に努めている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	×	○		

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。